



基地のある町から

基地のない平和な町へ

～4/27より 直接請求スタート！！～

平和・無防備地域をめざす宇治市民の会 奥森祥陽

基地のない平和なまちづくりを正面に掲げて

私たち「平和・無防備地域をめざす宇治市民の会」は「宇治市を基地のない非戦のまちに」を合言葉に、4月27日から「宇治市無防備平和のまち条例」の直接請求署名運動を開始します。3月3日には、陸上自衛隊大久保駐屯地に隣接する「城南勤労者福祉センター」で結成集会を開き、40人を超える方が参加してくれました。

宇治市の無防備運動の特徴は、「基地のない平和なまちづくり」を正面に掲げている点です。

と言うのも、たかだか人口19万人の宇治市に陸上自衛隊基地が2カ所（大久保と黄檗）あり、いずれも人口密集地で基地の周りには住宅地や学校施設があります。まさにジュネーブ条約追加議定書の軍民分離原則に違反しているのです。そして2つの基地は、宇治市のまちづくりにとつても大きな障害になっています。

宇治市は「大久保駅周辺地区整備構想」を作成していますが、大久保駐屯地の存在を前提にした整備構想であり、問題の本質

的な解決にはなりません。

具体的、合理的、科学的根拠をもった夢のあるプランを

結成集会に駆けつけてくれた元読谷村長の山内徳信さんは、村の73%を占めていた米軍基地をことごとく返還させる闘いの先頭にたつてきました。山内さんは、「具体的、合理的、科学的根拠を持った夢のある自衛隊基地跡地利用のマスタープランを作り上げてほしい」「そんなことは出来るわけではない、と言われるだろう。しかし既成概念を打ち破る発想を。問題は解決されるためにある」と私たちを力強く激励してくれました。

結成集会以降、「基地のないまちを一度考えてみませんか」と平和のまちづくりアンケートピラを基地周辺に配布しています。まだ、反響が出ているわけではありませんが、スタンプからこんな話が届いています。「先週チラシを入れたマンションの表札に知り合いの教員の名前がありました。その後、仕事で会う機会がありチラシの事を話すると『アンケートチラシを家族みんなで見て、自分ならどうするか』話が盛り上がった」そうです。

市民の会には是非FAXしてほしいとお願ひしました。

話を聞いて嬉しくなりました。みんな基地はいらないと感じていて、「基地のない平和な町づくり」基地跡地マスタープランを一緒につくっていきましょう」と訴えたいけば大きな反響をつくり出せると確信が深まりました。

ご支援をお願いします！

4月22日(日)

さあ！めざせ10000筆署名スタート集会

城南勤労者福祉センター(近鉄伊勢田駅下車徒歩15分)

講師 東京造形大学教授 前田 朗さん 参加費 500円

4月27日(金)

請求代表者証明書交付(予定)

午後から市役所前で署名スタート

(連絡先)

平和・無防備地域をめざす宇治市民の会

〒611-0042 宇治市小倉町南堀池103-14

電話・fax 0774-23-7103

E-mail ujimuboubi@yahoo.co.jp